

2025年度 宇治市地域自立支援協議会高齢部会活動報告

1. 部会の目的

高齢・生活困窮・障害の分野をまたいだ領域について
社会資源の共有や開発、困難ケース解決の方向を図る。

2. 活動概要

医療・福祉の制度、新しく創設される制度等の共有や勉強。介護保険サービスへのスムーズな移行について検討。高齢・生活困窮・障害等の困難ケースのケース検討。
今年度は主に 65 歳に障害福祉制度から介護保険制度に移行する際の諸課題の解決、ケアマネさんとの連携方法について検討。共通の手引きの作成を行った。

3. 主な参画団体

委託相談支援事業所、指定特定相談支援事業所（4事業所）、居宅介護支援事業所
宇治市役所：長寿生きがい課、介護保険課、生活支援課、地域福祉課、障害福祉課

4. 今年度の部会開催日及び開催内容

	開催日	開催内容
1	5月13日	今年度の取り組み内容の確認。
2	7月7日	介護保険への移行の課題整理や他府県の情報共有。ケース検討。
3	9月1日	介護保険サービスへの移行の流れや課題整理。手引きの検討。
	9月27日	ケアマネ勉強会に参加。課題の共有を行う。
4	11月10日	介護保険サービスへの移行の課題整理。手引きの検討。ケース検討。
5	1月19日	介護保険サービスへの移行の課題整理。手引きの検討。
6	3月2日	介護保険サービスへの移行の課題整理。手引きの検討。 今年度の振り返り・次年度に向けて。

5. 現状と次年度以降への課題

- ① 障害を持つ本人が65歳に達し、障害福祉サービスから介護保険サービスへ移行する際の課題を整理し、手引きの作成に着手することができた。来年度は相談支援部会や介護保険事業者とも検討を行い、完成させたい。
- ② 地域包括さんやケアマネージャーさんら介護保険の事業者と連携を図る取り組みを行った。勉強会でケアマネと相談員が課題を共有しコミュニケーションを図る取り組みができ、来年度以降も継続してほしいという声が出ている。前向きに検討していきたい。
- ③ 障害一高齢の分野をまたいで横断的にケース検討、協議できる場。介護保険や生活保護の専門部署も一堂に会しているのが強み。多くの事業者に参加を呼び掛けたい。

報告者 部会長 相談支援事業所おうばく 丸一 俊介